

Evolving the feasibility and validation of alleles produced by genome editing

Dr. Lydia Teboul

Head of Molecular and Cellular Biology, Mary Lyon Centre, MRC Harwel, UK

2023年4月6日(木) 16:00~16:30

理化学研究所バイオリソース研究センター 森脇和郎ホール

ゲノム編集をはじめとした技術が急速に進展したことで、遺伝子改変リソースの作製は容易になりつつある。その一方で、本当に意図した通りの遺伝子改変を実施できたのかを検証する手法は必ずしも整備されていない。意図しないゲノム領域に改変が起こる可能性があることだけでなく、狙った領域においても1塩基から数千塩基以上に及ぶ想定外の改変が起きることが知られており、生命科学研究やそのための実験材料作製だけでなく、リソース機関におけるリソース収集や品質管理においても懸念すべき課題である。本セミナーでは、マウスリソースの代表的な収集機関である英国・MRC Harwellにおける最新の情報をご紹介します。

当セミナーは、学生、研究者、技術者を対象としたものです。
理化学研究所以外からご参加の方は、所属する大学または研究機関が発行する身分証をご持参になり、守衛所にて入構証をお受け取りください。

Zoom 聴講可
参加ご希望の方は下記にご連絡ください
info-brc-seminar@ml.riken.jp